

特集：数学版サイエンスカフェ

最近、科学における社会連携活動の一環として、サイエンスカフェという催しがいろいろなレベルで行われています。数学においても、既にこのような催しを実施された方々が多いと思われませんが、一方、これから実施を予定されていたり、あるいは実施を求められている会員の方々（数学教室）も多いのではないかと思います。

そこで、今回の特集では、数学版サイエンスカフェを既に実施され、いろいろな経験を積まれた次の三大学およびその関係者の方々に、それぞれの実施体験に基づく紹介記事を書いていただきました。

- (1) 東北大学 サイエンスカフェ実施報告 — 偏光板による量子暗号の模擬実験 —
執筆者 林 正人, 木村 元
- (2) 東京工業大学 イベント報告：サイエンスカフェ「計算で何ができるか？」
執筆者 河原 吉伸, 永野 清仁
- (3) 奈良女子大学 数学版サイエンスカフェ活動, カフェマテマチカについて
執筆者 小林 毅, 松澤 淳一
〔敬称略〕

各記事では、それぞれの催しの趣旨、実施要領、具体的な内容、参加者の反応、問題点、今後の展望などが手際よくまとめられています。ご多忙中にもかかわらず、有益な記事を書いていただいた執筆者の方々に感謝いたします。

(編集委員会記)